

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586020901	科目番号 / Course code	05860209
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 13711_005		
授業科目名 / Course title	核兵器のない世界を目指して (核兵器とは何か) / Basic Guide to Nuclear Weapons		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakamurak nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	核兵器廃絶研究センター2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2865		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日3限 (12:50-14:20)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	このクラスでは、核兵器廃絶への道筋を考える際に不可欠な基礎知識として、核兵器の歴史と現状を総合的に俯瞰していきます。具体的には、核兵器とはいかなる特徴を持つ兵器か、世界の国々は核兵器をめぐってどのような政策をとってきたのか、いかなる軍備管理・軍縮努力が行われてきたのか(あるいはこなかったのか)といった点を学びます。		
授業到達目標/Course goals	核兵器をめぐると歴史と現状についての基本的な知識を得るとともに、核兵器のない世界の実現に向けた課題が何かを理解し、解決への具体的方途について学生一人一人が自分の考えを説明できるようになることを期待します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席点および講義の際のリアクションペーパー、意見発表などの平常点が全体の60%、期末レポートが40%です。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	核兵器、軍備管理、軍縮、抑止		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全回出席が原則。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	核兵器廃絶は可能でしょうか??. 答えは「あなた次第」です。核兵器の問題を切り口に、人権問題や環境問題といった人類共通の課題に対し、一人一人の個人がどのように関与していくことができるのか、この授業を通じてぜひ考えてみてほしいと思います。授業で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	中村 桂子/核兵器廃絶研究分野、特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長の実務経験を有する/特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長として、核軍縮・不拡散問題に取り組んでいた実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識を講義により教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方について イントロダクション：現代における核兵器
第2回	核兵器の誕生とその特性：核時代の始まりから広島・長崎まで
第3回	核兵器の非人道性：被爆者の体験から
第4回	核兵器の非人道性：核実験の影響
第5回	米国とロシアにおける核兵器体制
第6回	米国とロシアにおける核兵器体制
第7回	「核の傘」に依存する国々の論理
第8回	フランス、中国、イギリス、インド、パキスタン、イスラエルの核兵器とその論理
第9回	核不拡散体制の現状と課題
第10回	日本の核政策
第11回	世界の非核兵器地帯
第12回	北朝鮮の核問題
第13回	「核兵器のない世界」に向けた取り組み
第14回	「核兵器のない世界」に向けた取り組み
第15回	まとめ：核兵器廃絶に向けて「私たちにできること」

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586021301	科目番号 / Course code	05860213
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 13721_005		
授業科目名 / Course title	核兵器のない世界を目指して (国際社会と平和) / Peace and International Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	広瀬 訓 / Hirose Satoshi, 中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	広瀬 訓 / Hirose Satoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	広瀬 訓 / Hirose Satoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	shirose nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	核兵器廃絶研究センター 2階 副センター長室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2204		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 10:30-12:00 またはアポイントメントによる		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	このクラスは、核兵器廃絶を考えるうえで、その背景となる国際社会の基本的な特徴とその分析方法の基礎を学び、学生一人一人が、国際社会の特徴を踏まえたうえで、自分なりに平和へ至る方向を探る姿勢を見出せるようになることを目的とします。		
授業到達目標 / Course goals	具体的な到達目標としては、?A国際社会を分析するための基本的な社会科学の知識と方法を身につける、?B国際社会の特徴を理解する、そして?C国際社会の特徴を踏まえたうえで、自分なりに平和のために必要なアプローチを構築する、の三点について、その成果を少なくとも同じ講義を受講している他の学生に対し、説得的に提示できるようになることを期待しています。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	出席点および講義の際の提出物、リアクションペーパー、意見発表などの平常点が全体の40%、期末のレポートが60%です。レポートの採点においては、1)設問に対して、明確に答えているか、2)自分の意見がきちんと事実、根拠に基づいているか、3)意見が論理的に展開されているかの三点を基準に採点します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	あらかじめテキストの指定された箇所を読んでおくことが前提です。また、できるだけ現実の事件や問題を取り上げますので、必ず新聞の国際面を読むようにしてください。		
キーワード / Keywords	国際社会、平和、紛争、安全保障		
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト 最上敏樹 『いま平和とは』 岩波書店 ¥760 (購入してください) 参考書 大芝・藤原・山田編 『平和政策』 有斐閣 ジョセフ・ナイ 『国際紛争』 有斐閣 人間の安全保障委員会編 『安全保障の今日的課題』 朝日新聞社 犬養道子 『あなたに今できること』 中央公論社		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	予習を前提とするので、教科書は必須です。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	「核兵器のない世界を目指して」の入り口として、まず核兵器の問題の背景となる現在の世界情勢を、社会科学적인視点から見る姿勢を養うための科目です。	
学生へのメッセージ/Message for students	現在の国際社会に関する基礎知識を得たうえで、世界をより平和にするために、現状を批判的にとらえ、自分なりに平和に貢献する方法を模索するような姿勢を持つ学生に成長してくれることを期待しています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	広瀬訓/国連機関において2年間、また外務省に置いて2年半勤務した経験を持ち、実際の国際交渉や国連の働きを経験に基づいて解説するだけでなく、国際社会が実際に直面している問題を講義のテーマおよび教材として取り上げ、学生に解決へ向けてのアプローチの構築を指導する。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	はじめに：授業の進め方 ?A国際社会とは何か ・「社会」の意味 ・「国際」の意味	A
第2回	?A国際社会へのアプローチ ・「社会科学的」なアプローチ	A C
第3回	?B国際社会の歴史と成り立ち ・国際社会と国家	A
第4回	?C国際社会と紛争（テキストp.1-p.23） ・戦争はなぜ無くならないのか	A D
第5回	?D国際社会と国連（テキストp.25-p.55） ・国連は無力なのか ・なぜ「世界政府」はできないのか	A D
第6回	?E平和のための法（テキストp.57-p.87） ・国際法とは何か	A
第7回	?F様々な「平和」（テキストp.89-p.108） ・消極的平和とは何か ・積極的平和とは何か	A D
第8回	?G「正しい戦争」（テキストp.109-p.129） ・「正戦論」という主張 ・「武力制裁」という考え方 ・「人道的介入」とは何か	A B D
第9回	?H平和と人権（テキストp.131-p.148） ・人権とは何か ・国際社会と人権 ・「市民社会」という挑戦	A B D
第10回	?I核兵器と国際社会（テキストp.149-p.166） ・なぜ核兵器は無くならないのか	A
第11回	?J「国家」の枠を超えて（テキストp.167-p.196） ・あきらめない人々	A
第12回	?Kあなたの「隣人」とは（テキストp.197-p.214） ・平和のために何ができるか	A B D
第13回	?L国際社会の中の自分 ・世界市民として	A D
第14回	?M現代に生きる私 ・国際社会の過去・現在・未来を考える ・今私にできること	A B D
第15回	?Nまとめ	A B D
第16回	レポート提出	A C D

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586021701	科目番号 / Course code	05860217
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 13731_005		
授業科目名 / Course title	核兵器のない世界を目指して (被ばくと社会) / Exposed to Radiation and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro, 奥野 正太郎 / Okuno Shotaro, 桐谷 多恵子 / Taeko Kiriya, 山口 響 / Yamaguchi Hibiki, 中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro, 奥野 正太郎 / Okuno Shotaro, 桐谷 多恵子 / Taeko Kiriya, 山口 響 / Yamaguchi Hibiki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzukitatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview			
授業到達目標/Course goals			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

<p>実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course</p>	<p>米澤 紀子/株式会社テレビ長崎 報道部の実務経験を有している。/株式会社テレビ長崎 (報道部) の実務経験を活かし、韓国人被爆者に焦点を当てたテレビ報道や、緻密な取材に基づき、被爆問題の広がりや次世代への継承に関する授業を実施する。/ 奥野 正太郎/原爆資料館学芸員として被爆地長崎の資料保存を行っている実務経験を有している。/長崎原爆資料館初代学芸員として原爆に向き合った来た実務経験を活かし、学芸員の仕事を通しての研究成果を学生たちに教授する。/</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>オリエンテーション (鈴木達治郎) 講義概要の説明、自己紹介</p>
<p>第2回</p>	<p>第2回 報道に見える被ばくと社会 橋場紀子</p>
<p>第3回</p>	<p>第3回 報道に見える被ばくと社会 (1) 橋場紀子</p>
<p>第4回</p>	<p>第4回 報道に見える被ばくと社会 (2) 橋場紀子</p>
<p>第5回</p>	<p>第5回 報道に関するまとめの議論 (学生のグループワーク) 鈴木達治郎</p>
<p>第6回</p>	<p>第6回 平和教育について (1) 山口 響</p>
<p>第7回</p>	<p>第7回 平和教育について (2) 山口 響</p>
<p>第8回</p>	<p>第8回 平和教育について (3) 山口 響</p>
<p>第9回</p>	<p>第9回 平和教育についてのまとめの議論 (学生のグループワーク) 鈴木達治郎</p>
<p>第10回</p>	<p>第10回 長崎の復興について 桐谷多恵子</p>
<p>第11回</p>	<p>第11回 原爆と歴史 (1) 奥野正太郎</p>
<p>第12回</p>	<p>第12回 原爆と歴史 (2) 奥野正太郎</p>
<p>第13回</p>	<p>第13回 歴史に関するまとめ (学生のグループワーク) 鈴木達治郎</p>
<p>第14回</p>	<p>全体のまとめの議論 (学生のグループワーク) 鈴木達治郎</p>
<p>第15回</p>	<p>学生の発表 鈴木達治郎</p>